

店舗等での転倒・墜落・腰痛等の災害を防ぐため

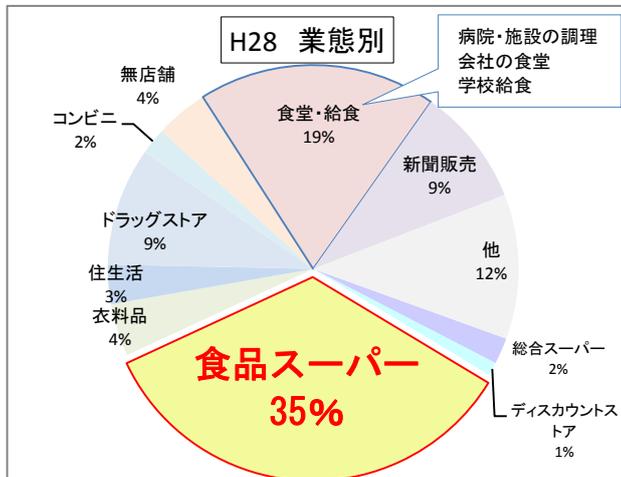
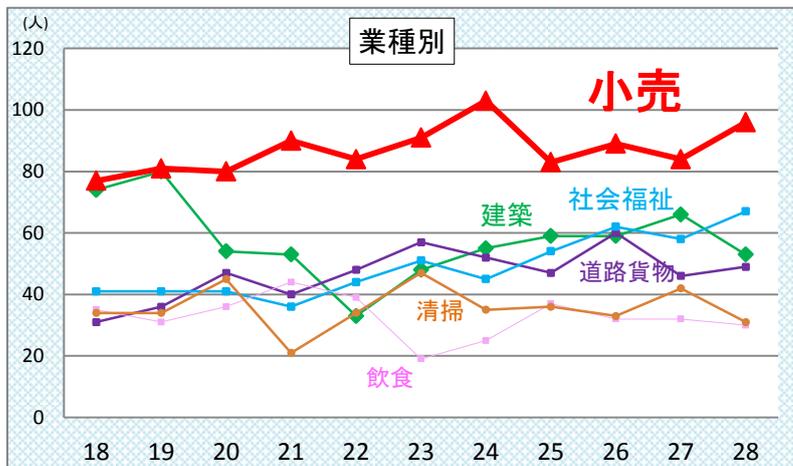
＜安心・安全な店舗づくり推進＞



八王子労働基準監督署

小売業の労働災害の特徴

◇食品スーパー、食堂・給食事業での発生多い



◇転倒災害が多い。また、経験3年未満での発生多く、被災者の半数は50歳以上

事故の型

- 転倒 31%
- 墜落 18%
- 不注意な動作 17%
- 他 34%

バックヤード・通路・駐車場において

年齢

- 60代~ 32%
- 50代 20%
- 40代 20%
- 30代 11%
- 20代 9%
- 10代 8%

荷姿の物を取り扱う際

脚立・踏み台使用时

階段を下りる時

経験期間

- 1年未満 35%
- 1~3年未満 14%
- 3~5年未満 9%
- 5~10年未満 18%
- 10~20年未満 15%
- 20年以上 9%

店舗に労働災害防止の担当者を配置し、働く人の安全意識を向上させる取組を！

安全の担当者（安全推進者）の配置

安全活動の経験、知識のあるものを1名選任、氏名を掲示

＜主な活動は以下＞

職場内の作業方法、危険箇所の改善しよう

- ①職場内の4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）
- ②包丁や台車等の安全な取扱い
- ③床面の凸凹、水・油等の解消（危険箇所の解消）

働く人の安全意識の向上させよう

- ①朝礼等において労働災害防止の意義、取り組みの周知
- ②安全な作業（脚立、器具の操作等）の教育
- ③危険の周知（見える化）、私の安全宣言

転倒危険！

災害危険！



働く人の安全意識向上（私の安全宣言例）



宣言日 平成 年 月 日
 掲示日 平成 年 月 日

私の安全宣言

労働災害防止のため 私はこうします！

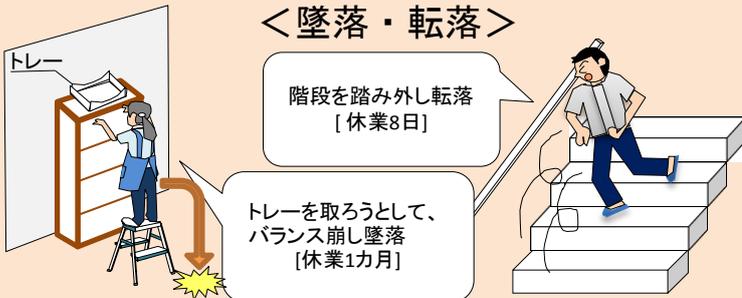
- ・通路上の整理・整頓を徹底する
- ・濡れている箇所があったら、すぐに拭き取る



会社名 (株) スーパー〇〇店
 氏名 東京 太郎

転倒、墜落・転落、不用意な動作による災害防止対策のポイント

<墜落・転落>

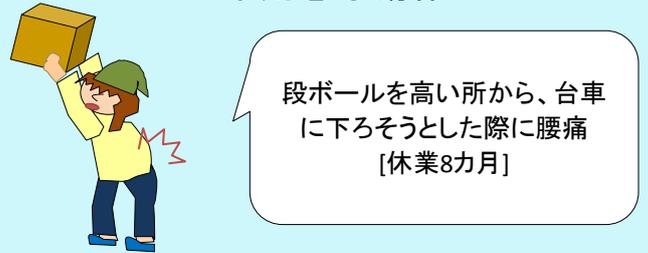


- ◇作業前
 - ・脚立等を使用する作業をなくす(高所に置かない)
 - ・脚立使用の際は作業に見合った(高さ等)用具使用
- ◇作業時
 - ・脚立使用のルール作成及び遵守(安全教育)

特に注意すべき事項

- ◎脚立から身を乗り出さない
- ◎椅子や机に乗って作業しない
- ◎3点(両手・足のうち3点)昇降

<不用意な動作>



- ◇作業前
 - ・重い物の運搬方法の検討
(重さの明示、台車使用、複数人対応等)
 - ・無理な姿勢とならない作業空間・高さの確保
- ◇作業時
 - ・荷の運搬時のルール作成及び遵守(安全教育)

特に注意すべき事項

- ◎持つ際の姿勢(膝を曲げ腰を落とす)
- ◎捻る等の急な動作をしない

<転倒>



惣菜厨房内で、滑って転倒
[休業40日]

通路の箱につまづき転倒
[休業30日]



- ◇作業前
 - ・バックヤードの4S
 - ・作業場に応じた滑りにくい靴(水、油に適した)の着用
- ◇作業時
 - ・バックヤード・通路等でのルール作成及び遵守(安全教育)

特に注意すべき事項

- ◎水分を確認したらすぐ除去(道具の備え)
- ◎通路を常に確保
- ◎慌てない、急がない

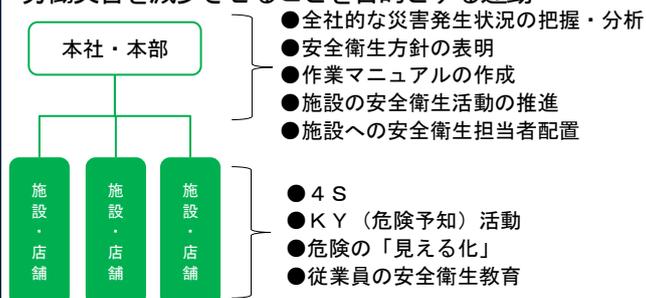
4Sとは

整理: 定期的に不要な物を処分
 整頓: 台車、荷の置き場を決める、通路の表示
 清掃: 作業場のゴミや油、水を取り除く
 清潔: 整理・整頓・清掃を繰り返す



働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運

小売業・飲食店・社会福祉施設の本社・本部と店舗・施設の役割に応じた全社的な安全衛生活動を展開し、労働災害を減少させることを目的とする運動



安全・安心な店舗・施設をつくるには?

詳しくはこちら → [安全 安心 推進運動](#)

STOP! 転倒災害プロジェクト

転倒災害防止に関する意識啓発を図り、転倒災害防止に必要な対策の実施により、職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境を実現することを目的とする取組

やっていますか?



転倒しにくい職場をつくるには?

詳しくはこちら → [STOP 転倒](#)